

明日に向かって元気アップ!

発行：学校元気アップ事務局

2026年 6月 30日

7月図書館開館日のお知らせ

1学期も最後の7月になります。期末テストが終わり、ほっと一息ついているかもしれませんね。9日からは短縮期間が始まります。お昼休みの開館日もあとわずかですが、短縮期間を含め、放課後の開館も予定していますので、どんどん本を読んだり、借りたりしてくださいね。みなさんが、来てくれるのを待っています！夏休み用に本を借りるのもいいかもしれません。

＜木曜日 2時限後の休み時間～放課後まで開館＞2日、9日

＜お昼休み開館＞8日までの月～金曜日

＜短縮・個人懇談期間＞10日～15日：放課後開館あり

★7月図書館放課後開館日

1日(水) 2日(木)

7日(火) 8日(水)

10日以降の短縮期間中は、

毎日3時半まで開館予定

放課後開館時は宿題や提出課題などに

取り組むのもOK!勉強のことちょっと

相談もどうぞ!!



第4回クイズに挑戦! が裏面にあるよ!
挑戦してみてね。

7月2日(木)から夏休みの長期貸し出しが始まります。返却期限は8月27日(木)。一人10冊まで借りられますよ!夏休みに本を読もう!

《元気アップ・山本の読書ノート》
映画やお芝居を観るのが趣味の私。最近は、「映画鑑賞や観劇をきっかけに、その原作本を読んでみる」という読書スタイルにはまっています。現在読んでいるのが、『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』(村上春樹)。鴻上尚史氏の上演作品をきっかけに読んでみることに。

次は、映画で見た『プロジェクト・ヘイル・メアリー』を読んで見ようかと思っています。内容は…

《地球滅亡の危機に挑む感動のSF超大作。原因不明の異変で衰弱する太陽を救うため、ある科学教師が宇宙へ。想像を超えた存在との出会いを経て人類存続の謎に迫っていく。》

この本は、平野北中学校図書館にもあります!



第4回 クイズに挑戦!

今回は、夏目漱石『夢十夜』(第六夜)から、名作まちがい探しの問題です。

名作まちがいさがし

『夢十夜』 夏目漱石

山門で仁王像が彫られていると聞き、散歩がてらに見に行ってみると、明治の世のはずなのに、鎌倉時代の仏師、運慶がいました。彼が無造作に鑿と槌を振るうと、像の眉や鼻がみるみる出来上がっていきます。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



(解答は、1週間後に図書館に掲示します)

夢をテーマに10の短編を集めたのが『夢十夜』で、明治41年、東京朝日新聞で連載されました。“また逢いに来ます”と言い残して世を去った女。彼女を待ち続けた男は……。 (第一夜)
鎌倉時代の仏師である運慶がなぜか現代に現れ、仁王像を彫っています。(第六夜)
ロマンチックなもの、怪談風のもの、幻想的なもの、不条理なものなど、語られる夢はさまざま。どれも五分程度で読めます。夏目漱石(1867~1916年)は『こころ』『吾輩は猫である』など、近代文学の名作を著した一方で、怪奇・幻想的な味わいが濃い作品もいくつか残しています。『夢十夜』が、そのひとつ。文豪のイメージとは少し異なる漱石の作品を、読んでみましょう。

「なんかとつきにくい」って人には、『夏目漱石、読んじゃえば?』なんて本はどうでしょう。

